



富谷市イクボス宣言書



子どもの割合が東北一多い本市では、平成30年4月1日現在で「待機児童ゼロ」を達成しました。

私たちは、子育て等の更なる支援を図るため、部下のワーク・ライフ・バランスを推奨し、健康でいきいきと仕事のできる環境づくりを積極的に行います。

自らもワーク・ライフ・バランスを実践し、活力ある組織風土の醸成に努め、富谷市が目指す「住みたくなるまち日本一 ～100年間ひとが増え続けるまち」を実現するため、イクボスとなり、行動することを宣言いたします。

イクボス10か条

- 1【理解】部下が、子育て・介護等に時間を割くことに、理解を示していること
- 2【ダイバーシティ】子育て・介護等に時間を割いている部下を差別(冷遇)せず、多様性を認めた考え方をしていること
- 3【知識】子育て・介護等のための支援制度を把握し、自ら部下に取得を促すこと
- 4【組織浸透】管轄している組織全体に、子育て・介護等を軽視せず、積極的にワーク・ライフ・バランスを推奨し広めること
- 5【配慮】職員派遣や未経験業務等への異動など、部下の子育て・介護等に「大きく」影響を及ぼす人事については、最大限の配慮をしていること
- 6【業務改善】育休・介休取得者が生じても、組織内の業務が滞らないよう、情報共有やチームワークの醸成、スクラップアンドビルドの徹底等、可能な手段を講じていること
- 7【時間管理】部下が子育て・介護等の時間を取りやすいよう、会議時間の短縮や会議開始時間の設定、意思決定の迅速化、業務改善等を進めていること
- 8【提言】上司に対し、部下の子育て・介護等に配慮したマネジメントをするよう提言していること
- 9【組織力維持向上】イクボスのいる組織であっても、組織力が減退することなく、維持向上することの実証を目指していること
- 10【隗より始めよ】ボス自らワーク・ライフ・バランスを重視し、人生を楽しんでいること

平成30年5月11日

宣言者

富谷市長

若日 裕俊

立会人

NPO法人ファザーリング・ジャパン東北

代表理事

竹下 小百合